

1 『尿路上皮癌に見られた異型細胞以外の
2 沈渣所見』

3
4 帝京大学ちば総合医療センター-SRL 検査室
5 安藤 正 大谷隆人 齋藤亜紀子

6
7 【目的】尿路上皮癌(以下 UC)患者の尿沈渣に異型
8 細胞が見られない場合も少なくない。血尿を伴わな
9 い事もあり初診時には見落としに繋がる懸念もある。
10 今回、UC の尿に異型細胞以外に特徴がないか検証し、
11 知見を得たので報告する。

12 【方法】H,18 年からの 5 年間に UC と診断された 576
13 例の尿沈渣記録,顕微鏡写真を見直した。

14 【結果】 年令構成は 70 才台が 272 例と最も多く、
15 最年少は 34 才(男性),最高齢は 98 才(男性)。
16 男女比は約 4:1。尿の性状は,肉眼的血尿:184
17 例,顕微鏡的血尿:136 例,膿尿:125 例,蛋白尿:
18 40 例,糖尿:8 例,異常なし:84 例。異型細胞以
19 外の上皮系細胞は,細胞質内封入体細胞:222 例,
20 大食細胞:210 例,脂肪顆粒細胞:168 例。

21 【考察】血尿は 55.5%に止まった。診療科,性別,
22 年令に注意を払い検査を進める必要性を再認識した。
23 膿尿が 21.7%見られた。赤血球は溶血させる事が出
24 来るが,白血球だけを消去する事は出来ない。スライド
25 がスへの積載量を少なくするなど鏡検し易くする工
26 夫が必要である。細胞質内封入体細胞,大食細胞が
27 約 40%に見られた。これらは UC 特有の細胞ではな
28 いが,他の疾患で見られる細胞と違いが無いか更に
29 検証して行きたい。

30 【まとめ】UC576 例の尿沈渣を再検証した。年令構
31 成,男女比はすでに報告されている結果とほぼ同様
32 であった。しかし,異型細胞以外に出現している細
33 胞に関する報告例は少ない。今後も検証を継続し,
34 UC の発見,見落とし防止に繋がる所見を探ってい
35 たい。

36 連絡先 043-660-8277
37
38
39